

第3 | 話

何でも良い！？

～本当に何でもいいですか？～

子どもの頃、母親に「今日の夕飯は何が良い？」と聞かれ、遊びに夢中で考えるのも面倒くさくて、「ん～何でも良い」と答えました。

その日の夕飯は私の嫌いな焼き魚になりました。当然、文句は言えませんでした。

その後、同様の質問をされた時には「何でも良い。焼き魚以外…」と答えるようになりました。

かと言って、この願いが常に叶うようなことはありませんでしたが。

さて、この話が一体、就職活動と何の関係があるんだと思いますか。それとも、何か思い当たることはありますか。

ハローワークの窓口で相談の場面で、
「何でも良いので紹介してください。」
というような切実な願いをされることがあります。

「何でも良い」という学生さんには、人手不足の業種や職種の求人を紹介させて貰うことがあります。
ところが、殆どの学生さんが「いや、それはちょっと・・・」と躊躇します。

その『何でも良い』の裏側には、”私に合うようなもののなかで、幅広くに紹介をして欲しい”という気持ちがあるのでしょう。

そして、更には”何が自分に向いているのか、何がやりたいのか明確には分からない”という状況でもあるのでしょう。このように就活のファースト・ステップである「自己分析」のところでつまづいている人も多いようです。

そんな時には、一つの視点として「○○以外」というような消去法も試してみると良いかもしれません。

自身の進路が明確でなくぼんやりとしている場合には、的を絞っていく為に様々なアプローチで交通整理をしてみてもいいかがでしょうか。

交通整理は自分だけでやることも可能ですが、私たちジョブサポーターと相談したり、職業適性検査や職業興味検査を試してみることも一つの方法です。

ハローワークで私たちジョブサポーターがお待ちしております。

★学卒ジョブサポーターは、県内15か所の全てのハローワークに配置されております★

今回はハローワーク川口 学卒ジョブサポーターからの「一言」です。